

## 2023年 在宅専門医試験結果報告

受験者数：63名（研修プログラムコース：21名、実践者コース：42名）

合格率（全体）：76.19%（研修プログラムコース：90.4%、実践者コース：69.0%）

総評：

全体的には例年とほぼ同様の合格率となったが、プログラムコースと実践者コースの合格率の差が大きかった。

一次審査（ポートフォリオを含む書類審査）での不合格者が全体の4.7%であり、ポートフォリオが規定の記載形式を満たしていない書類がみられた。面接試験では、ポートフォリオの内容および臨床診療能力が評価されたが、不十分と判断された受験生が多かった。この傾向は実践者コースの受験生により多く見られており、昨年同様にプログラムコースと実践者コースの合格率の差につながっていた。

今後、実践者コースの受験生の学習支援を強化し、合格率アップにつなげるよう、学会主催のポートフォリオ講習会参加を義務付ける等の支援策を検討する予定である。

不合格と判断された理由が多かったもの：

- ポートフォリオの内容が合格レベルに未達
  - 症例の経過記述に留まっており、思考過程が言語化されておらず、また自らが工夫した経過や結果が読み取れない。
  - 事例や学習した事柄の振り返りを行う過程において、フレームワークや論文を参考にしながら十分な考察がなされていない
  - 全て1例報告のみである
  - フォントのサイズが大きく、全体的に字数がすくない
  
- 面接時の質疑応答の内容が専門医レベルに未達
  - 全般的に臨床経験・知識不足が伺えた
  - 診療ガイドラインや標準的診療から逸脱した診療が見受けられた
  - オピオイド（医療用麻薬製剤）の基本的な使用方法に基づいた実践がなされていない

尚、当学会では合否結果に関する個人からのお問合せには一切対応しておりません。ご理解のほどよろしく願いいたします。